

東京工業大学附属科学技術高等学校 教育後援会だより

第19号

2018年3月2日発行



未来の技術者・経営者の皆さんへ

教育後援会会長 伊本 淳平

誠にありがとうございます。

詳細は5月の総会にてご報告致しますが、平成29年度に於きましては、皆様より頂いた助成金、バザーの売り上げ共に過去最高額を更新できました。これもひとえに皆様(教育後援会役員の方も含め)のご協力のおかげであり、重ねて御礼申し上げます。

唐突ですが、昨年の教育後援会だよりに寄稿した内容があまりにつまらないと元会長の顧問より酷評されましたので今年はカジュアルにいきたいと思います。

今年度も文化祭ではバザーを開催させて頂きましたが、会場では、とある保護者の方からお子様部活の合宿で泊まった宿泊施設の環境がとても良かったとのこと、後援会のおかげですとお礼を頂きました。実際は保護者の皆さまからお預かりした助成金を学校に寄付という形でお渡ししただけと言えただけですが、大変嬉しく思いました。後援会に関わって5年になりますが、今までそのような経験はありませんでした。もしも同じように助成金のおかげでお子様が良いことがあったと思われる保護者の方は、お近くの後援会役員さんに労をねぎらう一言をお掛け頂ければ幸いです。

もう一つ、バザー会場での出来事。私は本校が東京工業大学工学部附属工業高等学校と呼ばれていた頃の機械科卒ですが、当時の担任の先生(長谷川雅康教官)がいらっしゃり、私の胸に着いている「後援会会長」の名札を見て「出世したねえ～」と仰いました。まあ、会社ではあまり出世してないので、そんなこと言われる機会も無く、これも後援会のおかげ、役得と素直に喜んでおきました。

これを読んでいる在校生の皆さんは、将来はがんばって出世して下さいね。かの本田宗一郎氏も最初は町のバイク屋から始め、毎朝数人の社員に向かってミカン箱の上から「世界一になるぞー」と檄を飛ばしていたそうです。後の1987年以降に世界の F-1 Grand Prix で多くの優勝を飾った HONDA の創始者にもそんな伝説があります。

HONDA と言えば、今では当たり前のエアバッグを国産車で初めて搭載(1987年 HONDA LEGEND)した企業ですが、大学の授業で開発責任者の方にお話しを聞く機会がありました。当時開発費には10億以上掛かり、社内の反対も多かったそうです。それでも発売にこぎつけ、その年には4台の搭載車が事故を起こしましたが、運転手は全員エアバッグのおかげで助かったそうです。「たった4台の為に10億?」そんな声もあったそうですが、その方は「一人あたり、たった2億5千万円で命が救えたんですよ。オヤジ(宗一郎氏)の社内での愛称)も喜んでました。」と仰ってました。格好良かったですよ。在校生の皆さん、将来はそんな素敵な技術者や経営者になって下さいね。後援会はいつでも皆さんを応援しています。

教育後援会では庭園見学会やお料理教室などの、保護者同士の親睦の場も設けており、役員の方自身も楽しみながら企画しておりますので、機会がありましたらふるってご参加頂きたいと思います。また、保護者の皆さま、役員に是非立候補して下さい。一緒に子供達を応援しましょう。

今後とも教育後援会へのご理解ご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

